

(様式第1号)

平成27年度 第3回芦屋市放課後子どもプラン運営委員会 会議録

日 時	平成28年2月25日(木) 15:00~17:00
場 所	北館4階 教育委員会室
出席者	委員長 中田 伊都子 副委員長 金本 ひとみ 委員 桐村 廣子 委員 成田 直美 委員 守上 三奈子 委員 平井 郁子 委員 佐々木 春美 委員 田中 徹
欠席者	委員 伊田 義信 委員 中上 二郎 委員 中村 美津子 委員 荒谷 芳生 委員 和泉 みどり
事務局	社会教育部長 中村 尚代 生涯学習課長 長岡 一美 生涯学習課 宇田 明日香 生涯学習課 松本 かつみ 青少年育成課 上田 裕之
会議の公表	■ 公 開
傍聴者数	0人

1 会議次第

- (1) 開会
- (2) 議題
 - ア 校庭開放・教室型事業について
 - イ 芦屋キッズスクエアについて
 - ウ その他
- (3) 閉会

2 提出資料

- ・ 【資料1】校庭開放・教室型事業について
- ・ 【資料2】あしやキッズスクエアについて

3 審議内容

<中田委員長>

議題アの校庭開放・教室型事業について事務局より説明をお願いします。

<事務局：宇田>

(配布資料【資料1】に基づき説明)

<中田委員長>

まず、【資料1】の校庭開放に参加状況については、例年と変わりがないとお聞きしましたがご意見・ご質問等ございますか。

—意見なし—

<中田委員長>

人気の遊びを集計していただきましたが、やはりボール遊びが人気があるようなので、校庭開放の意義がここにあるように思いますが、ボールで遊ぶことにより危険なことはないのでしょうか。

学校でのボール遊びについても制限があるようにお聞きしているのですが、そのあたりは支障がないのでしょうか。

<事務局：松本>

野球にしても試合まではいかず、キャッチボールをするくらいです。

<佐々木委員>

野球のボールは固いボールでしょうか。それとも柔らかいボールを使用されているのでしょうか。

<事務局：松本>

軟球です。

<金本副委員長>

コミスクが使用しているのは軟球なので、軟球かテニスボールを使用していると思います。ボール遊びが禁止されているので、公園ではスポンジのボールを使用しています。

<佐々木委員>

野球をするとなると広い場所が必要なので、運動場で色々な遊びをするとなると安全管理人さんも気を遣われるように思います。

<事務局：松本>

危険が伴わないように、安全管理人さんには様子を見てもらっています。

<中田委員長>

教室型につきましては、各小学校区で色々なことをしていますが、これについて、何かご質問等ございませんか。

—意見なし—

<中田委員長>

次に校庭開放の研修会と情報交換会のご報告がありました。これについて、何かご質問等ございませんか。

研修会と情報交換会はいつごろ開催されましたか。

<事務局：宇田>

12月です。

<中田委員長>

情報交換会で管理人さんが「学校から行事の案内をいただきたい。」のご意見があったようですが、来年度からはご案内するようになるのでしょうか。

<事務局：松本>

学校の方にはお願いをと思っております。

<事務局：宇田>

行事に参加することによって、子どもとコミュニケーションをとれるという意見もお聞きしました。

<中田委員長>

仲良くお話されている姿も時々お見受けします。学校からのご案内が届かないと行事に参加しにくいと思われる方もいらっしゃると思うので、学校から校庭開放管理人さんへ行事の案内が届くようになればいいなと思います。

以前もご説明いただいたかもしれませんが、岩園小学校の校庭開放の時間帯ですが、冬時間がないのはどうしてでしょうか。

<事務局：松本>

岩園小学校はどの季節も15時～17時で校庭開放をさせていただいております。

<中田委員長>

夕方は危ないというご意見はないのでしょうか。

<事務局：松本>

冬時間になると市内中の学校が17時で終了します。冬時間でない場合は、16時～18時で校庭開放をしているのですが、岩園小学校はどの季節も15時～17時で校庭

開放をしています。

<金本副委員長>

17時に学校のチャイムが鳴ると思うのですが、芦屋市内の学校全部にチャイムが鳴っているのでしょうか。

<事務局：松本>

17時に防災行政無線から夕焼け小焼けが流れています。音楽が鳴っているのに、校庭開放を続けるのはというご意見もありましたが、16時から校庭開放が始まるので、17時で終了してしまうと1時間しか遊べなくなってしまいます。岩園小学校や朝日ヶ丘小学校はいったん帰宅せずに15時から校庭開放が始まるので、17時に終了しますが、他の学校はいったん帰宅して16時から校庭開放が始まるので、冬時間以外は18時まで校庭開放をしないと、校庭開放に来たけど遊び出したら帰るということになるので、16時までの開放にしてあげたいと思っています。

<中田委員長>

次年度の課題ということで話し合いの時間をもちたいと思います。

先ほども事務局よりご説明があった土曜日の校庭開放ですが、各学校平均10人程度の参加者があるようです。コミスクの活動状況により、各学校異なるとは思いますが、土曜日の校庭開放を続けていくべきか廃止すべきか皆さまのご意見をお聞きしたいと思います。

<平井委員>

子どもが宮川小学校に通っており、宮川小学校は来年度からキッズスクエアが始まるので、平日の校庭開放はありませんが、子ども自身は土曜日は校庭を開放していると思っています。野球をしているのですが、公園ではなかなかボール遊びができません。軟式のボールは使用できなくてもテニスボールでも親子でキャッチボールなど遠くまでボールを投げられるのが学校しかありません。思いっきり体を動かせる場所が少しでもある方がよいと思います。

<守上委員>

土曜日の校庭開放は親子で来られることも多いので続けてほしいと思います。

コミスクの方からは、「参加人数が少ないのであれば、校庭開放を廃止して、コミスクで使用させてほしい」という意見も出てくるのですが、浜風小学校では「それはできません」とお断りしています。

<成田委員>

山手小学校は、4・5年前から土曜日の校庭開放はなくなりました。山手小学校の場合、土曜日に子どもたちが2～3人来るか来ないかといった状況で、コミスクのサッカークラブの方から、「空いているのであれば、校庭を使用したい」という意見が出ました。どのように対応するか悩みましたが、土曜日は「すてっぷあっぷスクール」という教室

型を実施することにより子どもの居場所を確保することにし、校庭はコミスクのサッカークラブに使用してもらうことにしました。

先ほども事務局よりご説明がありましたが、すてっぷあっぷスクールは個々の対応をしているため、毎年4月に募集をし登録制にしています。毎月第2土曜日を低学年・第4土曜日を高学年の児童を対象にし、講師として大学生に来てもらい、学習の支援を行っています。

<桐村委員>

校区としては、山手小学校でお世話になっているのですが、参加人数が0人に近いようであれば、検討した方がよいとは思いますが、平均10名ほどの方が土曜日の校庭開放に参加しているということであれば、一般的に見て、球技ができたり親子で参加できるメリットがありますので、校庭開放は残した方がよいと思います。

<金本委員>

潮見地区は、土曜日は野球やサッカーをしていたり、小さい子どもはブランコで親子で遊んだり、端っこで鉄棒で遊んだりしています。

中央公園はサッカーやラグビーで使用しているので、ボール遊びができる場所として校庭開放を残していただけると嬉しいです。

潮見コミスクの方は土曜日の校庭開放について何か意見を言われているのでしょうか。

<事務局：宇田>

潮見コミスクからは特に何も聞いておりません。

<佐々木委員>

土曜日の校庭開放は1日でしょうか。

<事務局：宇田>

午前中だけです。

<佐々木委員>

午後はコミスクが使用されているのでしょうか。

<中田委員長>

各コミスクによって時間帯は異なると思いますが使用しています。

<佐々木委員>

午後はすでにコミスクが使用しているということであれば、全日コミスクが使用するのではなく、午前中は親子で鉄棒の練習をしたり、キャッチボールができる時間帯を残してもらいたいと思います。

<金本副委員長>

芦屋は公園に鉄棒はないのでしょうか。

<事務局：宇田>

私も子どもが1年生で逆上がりの練習をするために近隣の公園の鉄棒を見に行きましたが、すべての公園に鉄棒があるわけではありませんでした。公園に鉄棒があっても、鉄棒の高さが高く、逆上がりの練習をするのに一番良かったのはやはり学校の鉄棒だったので土曜日の校庭開放を利用させていただきました。

<金本副委員長>

うちも子どもが鉄棒の練習をする時に校庭開放を利用しました。

<佐々木委員>

第1回の運営委員会の時に「土曜日の校庭開放の参加人数が少ないのであれば見直しが必要ではないか。」という意見も出ていたように思いますが、広報を利用するなどをして参加人数が増えるように促していくのも一つの方法だと思います。

<中田委員長>

すべての土曜日に、校庭開放をしているのであれば、今週は開放している、今週は開放していないなどいつでも遊びに行けるのですが、学校によっては開放している週と開放していない週がありますので、「今日は開放しているかな？」と考えてしまうようなことが参加人数に影響しているのかもしれない。

それでも「土曜日の校庭開放は残してあげた方がよい。」というのが皆さまの大方のご意見だと思います。

<金本副委員長>

では、議題イのあしやキッズスクエアについて事務局より説明をお願いします。

<事務局：上田>

(配布資料【資料2】とプロジェクターを使用し説明)

<金本副委員長>

ありがとうございました。潮見はシルバー人材センターの方で運営をしてもらっているのですが、朝は晴れていて帰りに雨が降ってしまった時に、その日の管理人さんが傘がない子どもたちにビニール袋でポンチョを作って着せて帰らせてくださったそうです。そういった知恵も教えていただけるので、「シルバー人材センターの方はいいね!!」とお母さん達はすごく喜んでいます。

<事務局：上田>

潮見小学校は廊下に保護者の方が迎えに来られるので、お迎えの子どもを待っている間にシルバー人材センターの方と二言・三言お話をされるのが日課になっている方もい

らっしゃいます。シルバー人材センターの方と30代の子育て世代の方が関わる機会はなかなかないので、そういった風景をみることができるのは、とても嬉しいです。

保護者の方からシルバー人材センターの方に感謝のコメントが届いていたりするので、先生と保護者といった距離感とは異なり、シルバー人材センターの方とはとてもリラックスして接することができるのだと思います。

<金本副委員長>

自分の子どもがもっと小さな時にキッズスクエアが実施されたら良かったのですが、我が家は利用できる期間が短くとても残念でした。

<事務局：上田>

潮見小学校はシルバー人材センターが運営していますが、登録されている方がシーサイドの方が多く、地域の方が携わってくださっています。

精道小学校は、校区外の方も登録してくれているので、それが良い悪いではないですが、より地域の方が密着してくれることを望んでいます。

<平井委員>

来年度は宮川小学校、朝日ヶ丘小学校、浜風小学校で新たにキッズスクエアが実施されることとなりますが、浜風小学校と宮川小学校は18時まで校庭開放があり、宮川小学校については管理がとても緩い感じで子どもたちが自由に遊べるような環境です。意見交換会では「キッズスクエアがはじまることにより、管理が厳しくなるのではないか。」「17時で帰るのはもったいない」という意見が多く出ていました。

体験プログラムなどとても楽しみにしている部分はありますが、宮川小学校は今後どうなっていくのだろうと思います。

<事務局：上田>

今後というのはどういったことでしょうか。

<平井委員>

先ほどのご説明で朝日ヶ丘小学校と浜風小学校では、研修会がすでに行われたようですが宮川小学校はまだ行われていません。

<事務局：上田>

正直なところ、まだ決定ではありませんが、朝日ヶ丘小学校と浜風小学校については、地域の方を総動員で人材を集めていただいたので、一定数の人数が集まり、地域の方で運営できそうな状況です。

宮川小学校につきましては、一番多く説明会を開き、地域の方にご協力をしていただけないかとお願いしております。マネージャーにつきましては、学校の経験者も2名リクルートでき、人数が集まっているのですが、安全管理人さんが決まっておられません。

キッズスクエアについては、契約の関係もあり、地域で運営していただくかシルバー人材センターで運営していただくかの2択しかありませんので、宮川小学校については、

もう少し粘って、安全管理人さんを見つけ、地域で運営していただけないかと思っております。

潮見小学校のように、実際はシルバー人材センターでやっていただいても、とてもよい運営ができますが、最初のスタートにおいて知っている方が学校に入られるのと知らない方が入られるのでは、学校側や保護者の方のハードルは異なります。

宮川小学校の場合は、子ども達がアクティブに皆さん動かれるとお聞きし、私自身も何度か放課後の様子を見させていただいているので最初は多くの子ども達ですこし大変なところがあるのではないかと思います。そういったこともあり、なおさら地域の方で運営していただければと思っておりますので、現在、安全管理人さんをしていただけないか一人ひとりに交渉をしている状況です。

<金本副委員長>

正直、潮見小学校もはじめはシルバー人材センターの方に運営していただくことに色々な意見は出ましたが、今はとてもよい雰囲気運営していただいています。

<事務局：上田>

学校側からもキッズスクエアが初めて始まることもあり「最初はどうなることかと思った。」という意見も出ていました。夏休みにキッズスクエアで使用したトイレの掃除をしてくださるようお願いしたところ、夏休みが終わってからも、こまめにトイレ掃除を続けてくださっている方がいらっしゃって、そういう面でもシルバーさんの良さを再認識していただき、学校側は感謝していただいています。

シルバー人材センターに運営をお願いしても、このようにうまくいくと思うのですがマネージャーの方が決まっているので、なんとか安全管理人さんを見つけたいと思います。宮川のスタッフについてですが、私が声かけをするより、地域の方からの声かけがあると、安全管理人さんを引き受けてくださる方もいらっしゃると思いますので、平井委員からもぜひ声かけをしていただければと思います。

<金本副委員長>

宮川小学校区は見守りの方もたくさんいらっしゃるので、ぜひ地域の方で運営できればよいですね。

<守上委員>

すごく内輪なことですが、浜風小学校は夏休みがはじまりプール開放を3日間開催しています。それは地域に向けて誰が来てもよいことにしています。その次の3日間で将棋教室や将棋大会を開催しています。6日間、地域に向けてプログラムを組んでいるのですが、登録制ではないのでキッズスクエアに当てはまらないと思うのですが、その辺の兼ね合いはどうなるのでしょうか。

<事務局：上田>

山手小学校がこの夏に実際されているので、成田委員から説明をお願いします。

<成田委員>

山手ではキッズスクエアとコミスクの受付を別に設けてコミスクの行事であるプール開放やプール教室を開催しました。両方に参加する方もいらっしゃいましたが、特に大きな問題も起こらずスムーズに開催することができました。ただし、開催側の人数はともいっているのでコミスクは総動員して開催しました。これとは別のことですが安全管理人が現役の保護者の場合は、子どもの体調によっては急に休みになることもありますので、キッズスクエアの安全管理人やマネージャーの登録は多めにさせていただく必要があると思います。

<中田委員長>

この運営委員会には関係のないことですが、前年の実施を踏まえて後発組の新たな3校に向けて研修や情報交換会を開催していただくことは可能でしょうか。

新たに安全管理人やマネージャーをされる方は不安を抱えていらっしゃいますし、その不安から先に進めない方もいらっしゃると思いますので、顔を合わせる会をしていただけると有り難いです。

<事務局：上田>

山手さんには負担をおかけしますが、山手さんは地域の方がスタッフと活躍していただくモデルケースとなっております。山手のスタッフにはPTAの役員の方もおられますので、スタッフとしての問題はもちろんのこと、参加させている保護者としての意見も聞くことが可能です。それぞれの地域の方の方同士が情報交換を行われても構いませんし、必要であれば、青少年育成課で企画させていただきます。

<成田委員>

各自でお話を聞きに行かせてもらったり、上田先生にお話を聞くこともよいと思うのですが、現在実施している3校と次年度から実施する3校で顔合わせをすることができれば、不安に思われていることもお聞きし、今後のことをイメージしていただくことも可能でしょうし、改善点なども皆さんで話し合いができるように思います。

<事務局：上田>

現在、実施している各校では運営会議を開催させていただいているのですが、実務上運営していく中で必要があれば、現在の実施校に話を聞く会などを設けていきたいと思っています。

<事務局：中村>

補足ですが、現在、放課後のことについて話し合う場が「放課後子どもプラン運営委員会」しかありません。キッズスクエアについての決議機関については今のところ特にありませんが今後必要になってくるので、そういった機関を別に設けるのか、今後「放課後子どもプラン運営委員会」をどのようにしていくのか在り方について考える必要があると思います。

<金本副委員長>

他に何かご意見はありませんか。

—意見なし—

<中田委員長>

それでは、議題ウのその他について事務局よりお願いします。

<事務局：宇田>

現在、岩園小学校の月曜日と宮川小学校の土曜日の校庭開放管理人さんを募集しております。運営委員の皆さまでお知り合いの方で引き受けてくださる方がいらっしゃいましたら、生涯学習課までご連絡いただくと非常に助かります。よろしくご願ひいたします。

<金本副委員長>

時間帯はどのような時間ですか。また年齢や地域は制限ありますか。

<事務局：松本>

岩園小学校の月曜日は15時～17時、宮川小学校の土曜日は9時～12時です。年齢には制限はありませんが、交通費が出せないの、学校の近くの方がよいと思います。

<中田委員長>

いつまでにご連絡したらよいでしょうか。

<事務局：松本>

できるだけ早くご連絡いただければ助かります。

<中田委員長>

それでは、どなたかご紹介できる方がいらっしゃいましたら、生涯学習課まで連絡をお願いいたします。

本日の運営委員会はこれで終了させていただきます。

(閉会のご挨拶)